**別記様式第１号**（第３条関係）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 第　　　　　号

年　　月　　日

○○流域下水道（○×処理区）管理者

　　　　石川県知事　　　　　　　殿

○○市（町）公共下水道管理者

　　　職　　　氏　　　名

**接続工事（変更）承認申請書**

　流域下水道に流域関連公共下水道を下記のとおり接続したいので、石川県流域下水道維持管理要綱第３条第１項の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

|  |  |
| --- | --- |
| 流域下水道名 |  |
| 流域下水道幹線名 |  |
| 接続箇所番号 |  |
| 処理分区名 |  |
| 工事予定期間 | 年　　　月から　　　　　　年　　　月まで |
| 流入予定年月 | 　　　　　　年　　　月 |

　（注）１　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。

　　　　２　この申請書には、下記の書類を添付する。

　　　　　（１）調書　ア　流域関連公共下水道接続調書（様式第１号－１）

　　　　　　　　　　　イ　流域関連公共下水道流量計算書

　　　　　（２）図面　ア　処理計画施設平面図

　　　　　　　　　　　イ　マンホール等構造図

　　　　　　　　　　　ウ　接続箇所平面図、縦断図、横断図

様式第１号作成要領

１　この申請には、正本１部及び副本２部を添付すること。

２　流域関連公共下水道接続調書（様式第１号－１）の作成にあたっての注意事項

　１）流域下水道名

　　　流域関連公共下水道を接続しようとする流域下水道の名称を記入する。

　２）整理番号は記入しない。

　３）接続幹線名

　　　接続しようとする当該流域下水道管きょ施設の幹線名を記入する。

　４）接続箇所

　　　前項の接続する箇所の地名（小字まで）を記入する。

　５）接続箇所番号

　　　前項の接続箇所に該当する流域下水道管理者が指定した番号を記入する。

　６）供用開始予定年月

　　　下水道法第９条の規定にもとづく、公示を行う予定年月とする。

　７）接続工事完了予定年月日

　　　前項の工事の完了予定年月日を記入する。

　８）調書の区分

　　　調書の作成は、１処理分区につき、一葉とするが、接続マンホールに２箇所から接続する場合は別葉とする。

　９）処理分区内の地名

　　　当該処理分区内の町名（大字）を記入する。

　10）計画処理面積

　　　当該処理分区の申請時点での整備面積を下段に、又流域下水道計画と整合した計画面積をカッコ書きで上段に記入する。数値はヘクタール以下小数点第２位を四捨五入して、小数点以下第１位まで記入する。

　11）計画処理人口

　　　当該処理分区の申請時点での整備人口を下段に、又流域下水道計画と整合した計画人口をカッコ書きで上段に記入する。

　12）計画汚水量

　　　当該処理分区の申請時点での発生汚水量を下段に、又流域下水道計画と整合した計画汚水量をカッコ書きで上段に記入する。

　13）接続管

　　　接続マンホールと流域関連公共下水道施設の下流端マンホールとの間の管きょについて、内径、こう配、管延長、計画流量、計画流速、地盤高、管底高及び土被りを記入する。

３　処理計画施設平面図の作成にあたっての注意事項

　１）縮尺2,500分の１程度の主要な管きょを表示した平面図とする。

　２）接続しようとする当該処理分区界（１mm実線）及び名称を赤色で記入する。

　３）流域下水道幹線（２mm実線）及び名称を青色で記入する。

４　マンホール等構造図の作成にあたっての注意事項

　１）縮尺50分の１程度とする。

　２）流域関連公共下水道施設の下流端マンホールと接続管の構造図とする。

　３）付近見取図にマンホール位置を図示する。

５　接続箇所平面図、縦断図、横断図の作成にあたっての注意事項

　　接続箇所平面図は、流域関連公共下水道の下流端マンホールから、流域下水道幹線までの区域を表す平面図とし、各管きょ名、マンホール名を記入する。縦断図、横断図は接続管工事の発注用の図面を添付する。

６　当該処理分区の下水道計画に用いた流量計算表とする。記入の内容は流域関連公共下水道幹線の流量計算がわかり、かつ流域関連公共下水道最終端管きょの排水面積、流出量、管径、管底高、こう配、土被り等を明示する。